

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月17日更新

事務事業名	菊池環境保全組合構成事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	21	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	上村 恭子
体系	施策の柱	63	廃棄物の適正処理			所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目	会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 10197	根拠法令	菊池環境保全組合例規		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和41年にし尿を共同処理するために泗水町、合志町、西合志町、菊陽町、大津町により設立された。昭和45年からごみ処理も併せて行なっていたが、平成17年8月からし尿処理は、菊池広域連合に移管された。東部清掃工場及び環境美化センターの運営管理費として合志市分の負担金を支出する。新清掃工場の建設については、令和3年4月稼働に向け工場建設等を進めている。
【業務の流れ】	負担金支払い事務、会議、研修会参加、地元説明会などに参加
【主な予算費目】	職員手当、負担金補助及び交付金(負担金)
【意見や要望】	議会から、ごみ減量化を推進し負担金の削減を行なうよう要請がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	菊池環境保全組合に対する本市分の負担金を遅延なく支払った。(年4回) また、会議、研修会に出席し、構成市町と情報共有等の連携を図った。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 負担金を支払い、会議、研修会に出席する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → ア: 会議・研修会参加回数	予算の主な増減の理由 新環境工場建設負担金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	菊池環境保全組合に対する合志市分の負担金	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 菊池環境保全組合負担金 千円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	負担金を抛出し、菊池環境保全組合の適切な運営を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 事務組合のごみ処理量 t
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
成果指標を「事務組合のごみ処理量」とした。目標値は将来見込まれるごみ排出量とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア	回	32	21	20	10	20	20	20	20
② 対象指標	ア	千円	359,582	456,472	559,595	559,595	717,403	513,023	489,681	497,349
③ 成果指標	ア	t	14,477	14,419	14,243	14,932	14,314	14,385	14,455	14,530
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	359,582	456,472	559,595	559,595	717,403	412,077	489,681	497,349
	(A) 事業費計	千円	359,582	456,472	559,595	559,595	717,403	412,077	489,681	497,349
	(A)のうち指定経費	千円	359,582	456,472	559,595	559,595	717,403	412,077	489,681	497,349
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	4	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	1,060	1,010	850	700	850	850	850	850
	(B)人件費計	千円	4,193	3,981	3,386	2,774	3,386	3,386	3,386	3,386
	トータルコスト(A)+(B)	千円	363,775	460,453	562,981	562,369	720,789	415,463	493,067	500,735

事務事業名	菊池環境保全組合構成事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 菊池環境保全組合の運営ができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 菊池環境保全組合の運営ができる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 菊池環境保全組合の適切な運営ができるので向上の余地がない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。 平成33年度以降、菊池広域連合と統合の予定。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 廃棄物の発生抑制やリサイクルの推進により、ごみ処理量の抑制を図ることができ負担金を削減することが可能である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 組合の運営や支払いに関する事務であり削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合志市内のごみが対象であるので公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 組合の運営や支払いに関する事務であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

菊池環境保全組合に対する合志市分の負担金を支払った。  
会議、研修会に参加した。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					